

日商簿記 1 級取得者の転職に関するアンケート結果

アカウントエージェント株式会社では、日商簿記 1 級を取得したのち転職された方を対象としたアンケート調査を実施しています。

当アンケート調査はコンテンツの信頼性担保を目的として実施し、結果を掲載しています。

調査概要及びアンケート調査結果の詳細は、以下をご覧ください。

■ 調査の概要

アンケート名称	日商簿記 1 級取得者の転職に関するアンケート調査
調査方法	インターネットリサーチ
調査の実施主体	アカウントエージェント株式会社
調査期間	2026 年 8 月 15 日～8 月 23 日
有効回答数	103
アンケート対象者	スクリーニング調査において「日商簿記 1 級を取得しており、資格の取得後に転職した」と回答した者

※ 本調査における「会計・税務未経験」とは、転職する前の時点で会計・税務の実務経験がまったくない（0 年）と回答した方を指します。

※ 年収はいずれも 50 万円刻みの選択肢から最も近い金額を選ぶ形式で回答を得ており、回答者の自己申告です。

■ アンケート調査結果

Q1. 年代と、転職する前の時点における会計・税務の実務経験の有無

年代	会計・税務未経験	会計・税務経験者	計
20 代	12 名 (11.7%)	18 名 (17.5%)	30 名 (29.1%)
30 代	11 名 (10.7%)	32 名 (31.1%)	43 名 (41.7%)
40 代	4 名 (3.9%)	21 名 (20.4%)	25 名 (24.3%)
50 代以上	0 名 (0.0%)	5 名 (4.9%)	5 名 (4.9%)
計	27 名 (26.2%)	76 名 (73.8%)	103 名 (100.0%)

Q2. 転職する前の時点で、会計・税務の実務経験は何年ありましたか

選択肢	回答者数	割合
まったくない (0 年)	27	26.2%
1 年未満 (請求書処理など一部業務のみ)	8	7.8%
1～3 年	19	18.4%
3～5 年	18	17.5%
5 年以上	31	30.1%
全体	103	100.0%

Q3. 日商簿記 1 級の学習にかかった期間をお答えください

選択肢	回答者数	割合
6 か月未満	4	3.9%
6 か月～1 年未満	15	14.6%
1 年～1 年半	27	26.2%
1 年半～2 年	25	24.3%
2 年～3 年	21	20.4%
3 年以上	11	10.7%
全体	103	100.0%

Q4. 転職先での職種・勤務先の種類をお答えください

選択肢	回答者数	割合
企業の経理・財務	50	48.5%
会計事務所・税理士法人の職員	30	29.1%
監査法人・コンサルティングファームの専門職	8	7.8%
経理以外の管理部門（人事・総務・法務等）	8	7.8%
会計・税務とは関係のない職種	7	6.8%
全体	103	100.0%

Q5. 転職先の業種をお答えください

選択肢	回答者数	割合
会計事務所・税理士法人	30	29.1%
製造業	17	16.5%
情報通信業	12	11.7%
サービス業	12	11.7%
卸売業・小売業	10	9.7%
金融業・保険業	8	7.8%
建設業	6	5.8%
不動産業	5	4.9%
医療・福祉	3	2.9%
全体	103	100.0%

Q6. 転職活動を始めてから内定までにかかった期間をお答えください

選択肢	回答者数	割合
1 か月未満	9	8.7%
1～3 か月	39	37.9%
3～6 か月	32	31.1%
6 か月～1 年	17	16.5%
1 年以上	6	5.8%
全体	103	100.0%

Q7. 転職する前の年収（直近 1 年間の税込年収）に最も近い金額をお答えください

選択肢	回答者数	割合
250 万円以下	12	11.7%
300 万円	20	19.4%
350 万円	24	23.3%
400 万円	19	18.4%
450 万円	13	12.6%
500 万円	8	7.8%
550 万円	4	3.9%
600 万円	2	1.9%
650 万円以上	1	1.0%
全体	103	100.0%

Q8. 転職した後の年収（入社 1 年目の税込年収）に最も近い金額をお答えください

選択肢	回答者数	割合
250 万円以下	5	4.9%
300 万円	13	12.6%
350 万円	21	20.4%
400 万円	24	23.3%
450 万円	17	16.5%
500 万円	12	11.7%
550 万円	6	5.8%
600 万円	3	2.9%
650 万円以上	2	1.9%
全体	103	100.0%

Q9. 転職前後の年収の変化（Q7・Q8 より集計）

選択肢	回答者数	割合
上がった	58	56.3%
変わらない	28	27.2%
下がった	17	16.5%
全体	103	100.0%

※ Q7・Q8 で選ばれた金額が動いたかどうかで判定しています。50 万円未満の増減は「変わらない」に含まれます。

※ 以下は、転職する前の時点で会計・税務の実務経験がまったくないと回答した
27 名を対象とした集計です。

Q10. 【実務未経験の方】 転職先での職種をお答えください

選択肢	回答者数	割合
企業の経理・財務	10	37.0%
会計事務所・税理士法人の職員	9	33.3%
経理以外の管理部門（人事・総務・法務等）	5	18.5%
会計・税務とは関係のない職種	3	11.1%
全体	27	100.0%

Q11. 【実務未経験の方】 転職前後の年収の変化

選択肢	回答者数	割合
上がった	10	37.0%
変わらない	11	40.7%
下がった	6	22.2%
全体	27	100.0%

※ 判定方法は Q9 と同じです。

※ 以下は、上記のうち会計・税務の職種へ転職した 19 名を対象とした集計です。

Q12. 【実務未経験から会計・税務の職種へ転職した方】 転職した時点の年代

選択肢	回答者数	割合
20 代	9	47.4%
30 代	7	36.8%
40 代	3	15.8%
50 代以上	0	0.0%
全体	19	100.0%

Q13. 【実務未経験から会計・税務の職種へ転職した方】 転職前後の年収の変化

選択肢	回答者数	割合
上がった	7	36.8%
変わらない	8	42.1%
下がった	4	21.1%
全体	19	100.0%

実務未経験から転職した方の声（自由記述より抜粋）

※ 自由記述の一例であり、回答者全体の傾向を示すものではありません。

20代・女性／人材派遣会社事務→経理事務

派遣事務で契約書や勤怠の取りまとめをしていましたが、一般事務の仕事の未来に不安を感じたため、働きやすそうな経理を志望しました。転職したいと思った時点で簿記2級を持ってましたが、1級を取った方が就活でも有利だと思い、9ヶ月かけて1級に合格しました。選択肢には一応会計事務所も入れてましたが、経理の方が残業も少なく働きやすそうだったため、応募先はほぼ経理だけでした。思ったほど就活は大変ではなく、5社応募して2社内定を貰いました。今も経理で働いていますが、とても働きやすく転職してかなり良かったと感じてます。

20代・男性／専門商社の営業→物流会社の経理

自分への適性を考えて営業職から管理部門系職種に転職したいと思い、簿記資格を取りました。学生時代から勉強は得意だったので、無資格から働きながら日商簿記1級まで取得できました。前職は会計とは全く関係のない仕事でしたが、第二新卒枠だったのと面接時の対応力を評価され、経理に転職できました。15社ほど応募して同時に3社内定をもらい、一番年収の良い企業に決めました。

20代・男性／学習塾の講師→税理士法人（記帳・決算補助）

教える仕事が好きでしたが、夜型の生活と、この先の給料がほぼ上がらないことが見えていたので転職を考えました。資格を取って転職したいと思い、汎用性の高そうな簿記を勉強しました。ゆくゆくは税理士試験まで行くつもりだったので、その手前として1級を取っています。所長との面接では「1級を持っていても実務は一からだよ」とはっきり言われました。そのうえで採ってもらえたので、見られていたのは知識より、続けられるかどうかだったと思います。

30代・男性／システムエンジニア → 税理士法人（記帳代行）

受託開発を8年やって、常駐先が変わるたびに一から関係を作り直す働き方に疲れてジョブチェンジしました。数字と仕組みを扱う点は前職と近いだろうと考えて、会計の道に決めました。1級の勉強には2年近くかかりました。面接ではExcelやクラウド会計の話ができたことのほうが、簿記の知識よりも効いた気がします。事務所側もちょうどシステムの入替えで人手が要る時期だったようです。

30代・女性／旅行代理店のカウンター営業 → 会計事務所（税務補助）

コロナで業界が止まったときに、危機感を感じて簿記の勉強を始めました。商業高校出身で2級までは持っていましたが、知識はだいぶ忘れていました。仕事にスキマ時間がかかなり多かったので、大半の時間を1級の勉強に費やしました。元々税金計算に興味があったため、勉強しながら会計事務所の転職活動もしていましたが、未経験という部分がネックで書類に落ちることも多かったです。今の事務所では簿記1級を高く評価してもらうことができ、採用してもらえました。

30代・女性／不動産会社営業事務 → 不動産会社の経理

元々営業事務として日報集計や経費精算・出納はやってましたが、経理事務には関わらず、簿記1級の勉強だけで知識をつけました。転職活動では経理をずっと希望してましたが、求人の多くが「実務3年以上」で、応募できる求人が少ないことに苦労しました。かなりの数応募しましたが、最後は不動産での経験を評価してもらい、同業界の経理に転職できました。面接時に現場での話が通じたのは大きかったと思います。

40代・男性／印刷会社の営業 → 税理士法人

同業者や取引先の廃業を何件も見てきて、自分の会社もいつまで続くか分からず不安を感じていました。40代からでも手に職が要ると思ったのがきっかけで、簿

記1級を取りました。現実には厳しく、50社以上落ちたと思います。最終的に決まったのは、営業経験のほうを評価してくれた事務所でした。所長から「顧問先と話せる人が欲しい」と言われたときに、簿記以外にアピールできる材料があることに気付きました。コミュ力は意外と強みになるのかもしれません。

40代・女性／不動産仲介会社の事務 → 会計事務所（記帳・給与計算）

子どもの手が離れたタイミングで勉強を始めて、簿記1級の合格まで3年ほどかかりました。就職活動では年齢のことを何度も言われましたが、給与計算までできる人を探していた事務所に採用してもらえました。年収は前職より50万円ほど下がりました。それでも40代で新しい仕事に入れたので、納得しています。

40代・女性／IT系バックエンド → IT系システム会社の経理

以前はIT業界の事務職で働いており、管理部門の中でも専門性の高い経理に興味がありました。簿記2級を取得しました。その後転職活動をしていましたが中々決まらず、1年以上が経った頃に簿記1級も取得しました。結局転職したのは最初に活動を始めてから1年半ほど経過した頃でした。IT業界の知識があることを評価され、今の会社に経理として拾ってもらいました。

回答者の属性

SC1. 転職した時点の年代

選択肢	回答者数	割合
20 代	30	29.1%
30 代	43	41.7%
40 代	25	24.3%
50 代以上	5	4.9%
全体	103	100.0%

SC2. 性別

選択肢	回答者数	割合
男性	55	53.4%
女性	48	46.6%
回答しない	0	0.0%
全体	103	100.0%

SC3. 転職前の職種・勤務先の種類

選択肢	回答者数	割合
企業の経理・財務	47	45.6%
会計事務所・税理士法人の職員	17	16.5%
事務・アシスタント	16	15.5%
営業	7	6.8%
販売・接客	5	4.9%
製造・技術	3	2.9%
その他	3	2.9%
IT・エンジニア	2	1.9%
金融（法人営業・窓口等）	2	1.9%
医療・介護	1	1.0%
全体	103	100.0%

SC4. 転職前の勤務先の業種

選択肢	回答者数	割合
製造業	19	18.4%
会計事務所・税理士法人	17	16.5%
サービス業	15	14.6%
卸売業・小売業	14	13.6%
情報通信業	11	10.7%
金融業・保険業	8	7.8%
建設業	8	7.8%
医療・福祉	6	5.8%
不動産業	5	4.9%
全体	103	100.0%

SC5. 転職前の勤務先での在籍年数

選択肢	回答者数	割合
1 年未満	7	6.8%
1～3 年	30	29.1%
3～5 年	32	31.1%
5～10 年	22	21.4%
10 年以上	12	11.7%
全体	103	100.0%

本調査結果を引用される際は、出典として当サイトの URL (<https://a-agent.co.jp/>) を明記してください。